

## 歴代の『御堂番日誌』を振り返って

— 『御堂番日誌』から聞こえてくる、「ひだご坊」の日常と参加者の感動—

### ■平成4年10月7日 高山1組不遠寺門徒

2度目御堂番を勤めさせて頂き有難うございました。私が子どもの頃日曜学校でお経を習い童話を聞いて過ごすなどしました。又、それ以外の日も別院は当時の子供たちのとても楽しい遊び場でした。今はバスも多く出入りし寺宝館が開設され参拝も多くなり、昔とは様変わりした別院ですが御堂番をしながら50余年前を懐かしく思い出しました。

### ■平成10年3月20日 高山2組還來寺門徒

私は高校生ですが祖母が来られなくなったので、代わりに御堂番をさせて頂きました。

本日は雨がかなり強く参られる方も少ないと思っておりましたが午後よりお堂で法話があり、高校生の私も聞かせていただきましたが非常に印象に残りました。

### ■平成10年9月～11月20日 高山2組願生寺門徒

蓮如上人500回忌法要を来春に控え、別院の修復工事の為に本堂は庫裡を仮本堂として閉鎖して御堂番もお休みでした。11月21日より従来の形で再開となった。

### ■平成10年11月29日 高山2組速入寺門徒

今日は9時からK寺の若院さんの結婚式があり、関係者の方々のご列席で仏前結婚式でした。別院で

の結婚式は初めてでしたが、感激の気持ちでいっぱいでした。

### ■平成11年4月13日 清見組了因寺門徒

蓮如上人500回忌御遠忌の十日前、すべて整えられた別院の境内には五色の吹き流しが春の風にはためいています。御堂番のご縁を頂き、午前中初めて平素入る事の出来ない内陣へ上がらせ頂き畳や床も拭かせて頂きました。

### ■平成11年5月27日 高山1組咲芳寺門徒

日常生活の中では、めったに正信偈を唱える事が無いのに本日は照蓮寺の列座さんと一緒に緊張した気持ちでお勤め致しましたが実にすがすがしい気持ちでした。この無の時間とでも言いますか大切にしたいと実感致しました。無事 御堂番を終わりましたことを感謝致します。合掌

### ■平成22年9月29日 高山1組蓮乗寺門徒

4年続けて御堂番をさせて頂きました。2人共「まめ」なおかげです。富山県の中学1年生が3台のバスで来られ多数の生徒さんが本堂に上がり仏の前で手を合わせていました。後姿を見て感動しました。仏に感謝し来年も2人で御堂番に来られたらと今日1日に思いありがとう。南無阿弥陀仏

### ■平成23年8月3日 益田組永養寺門徒

永養寺様より御堂番のご縁を頂き御奉仕させて頂きました。飛騨で最大のお寺と聞き初めて御奉仕でありがたく務めさせて頂きました。台帳を拝見させて頂いて毎日欠かすことなくお勤めされている事に驚きました。何事も知らなければ知らないですむ。しかし経験は何事にも変えられない宝だと感じました。多くの知らない人ともお話ができ友達になり、知らなかった事も知る事ができ今回御堂番として務めさせて頂きましたが、次回は別の形で参拝させて頂きたく思います。有難うございました。

### ■平成26年7月6日 高山2組往還寺門徒

今日は、主人と孫 3人で御堂番をさせて頂きました。お堂の前にて心も体も少しのゆとりを感じさせて頂きました。5才の孫も久子展を見て「頑張りやさんの人だね」と感銘を受けていました。心の成長に喜んでおります。本日は有難うございました。

### ■平成26年9月14日 吉城組浄永寺門徒

今日のご縁を頂き、御堂番をさせて頂きました。1日有意義に過ごさせて頂きこういった場を設定して下さいました事に感謝します。外の女子トイレの掃除させて頂きました。集めたゴミの上を踏んで行かれる方もありましたが、「ご苦労様」「入ってもいいですか」「綺麗にされますね」「高山の水はとて冷たくて気持ちいいですね」など嬉しいお言葉を頂戴しました。一瞬のふれ合いが、素敵でした。

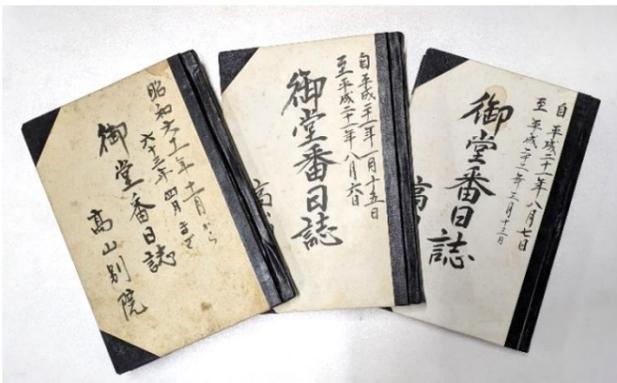
### ■平成28年4月20日 高山1組稱讚寺門徒

東京から3才の孫が来たので一緒に御堂番をさせて頂きました。掃除をしている時、孫がお賽銭箱を見て「これ何？」と質問しました。「これはなんな様にお金をあげる箱やよ」と言うと孫は「なんな様はお金が好きなんだね」と言いました。もう少し大きくなったらちゃんと話してやりたいと思います。

### ■平成28年8月8日 益田組浄福寺門徒

初めて御堂番をさせて頂きました。工事の様子を拝見する中で、未来の人達へと繋がる悠久の平和が続きます様にと祈らせて頂きました。『中村久子展』や「チェルノブイリ写真展」は静かに迫ってくるものがありました。また、個人的で、恐縮ですが昨年末に家内を亡くした者にとって「なぜ?からはじまる歎異抄」は「自分のエゴ」を気付かせていただけの機会となりました。一人、家内の写真を持って四国八十八ヶ所お遍路でも救われなかった自分が今日の気づきをいただけた事に感謝致します。

高山別院『御堂番日誌』より



『御堂番日誌』

## ★センター・別院からのお知らせ★

### 組長懇談会を開催 2月20日 高山地区の教化の課題について討議

「親鸞教室」の現状について討議・真宗同朋会の機構改革について説明を受ける

去る2月20日(金)、2025年度の組長懇談会が開催された。

昨年2月の組長懇談会において、各組企画会議懇談会の報告「各組企画会議懇談会の踏まえ今後の取り組みについて」が提示され、これを受けて同年6月には各組からの意見集約を行ったが、その中で、同報告書の「認識のズレ」「理解不足」については具体性が欠けるという指摘を受けたこともあり、懇談会の中で高山地区の「親鸞教室」の現状について各組長より報告いただき、各組教化の現状を具体的に理解していく場とした。その中で、「親鸞教室」の実施が難しくなっていることが報告され、これまでの組単位という枠組みを超えて、実施形態を検討していくことが必要ではないかとの意見が出された。



真宗同朋会の機構改革についての説明と理解を求めた大佐古則久氏(真宗同朋の会会長・高山2組還來寺門徒)

また、真宗同朋会においては、現在の校区ごとの支部制度を改め、組単位の支部に改めていく方針が提示されており、各組での同朋会員の管理に関わる業務が想定されることから、その説明が高山地区同朋の会会長の久則大氏より行われた。

### センター教化事業 ※詳細は教務所だより同封の各行事ごとの案内をご参照ください

#### 真宗公開講座 3月2日(月) 午後2時～

講師：市野智行氏(同朋大学准教授) 講題：顛倒の身を生きる  
参加費：500円 ※ 僧侶方のご参加をお待ちしております。

#### 聖典聖教学習会(高山地区) ①3月4日(水)・②4月2日(木)・③5月19日(火)

講師：名和達宣氏(教学研究所属員) 講題：親鸞聖人の『観経』観  
持ち物：『真宗聖典』・念珠  
参考資料(お持ちの方はご持参ください)：『御同朋を生きる』・『2025年度  
安居次講『観無量寿経』序文聞記』(鶴見晃氏著)  
※各日、午後2時開会 参加費：500円

#### 映画『福田村事件』上映会・現代の問題講座 チケットは各500円(高校生以下は無料)

上映会:3月6日(金)午後2時・7時の2回 講座:3月29日(日)午後2時～  
関東大震災下における虐殺事件を題材にした映画『福田村事件』(森達也監督)の上映と、森達也氏による講演会。  
上映会企画テーマ：虐殺のスイッチ 一人すら殺せない人が、なぜ多くの人を殺せるのか  
講演会テーマ：世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい

#### 飛騨御坊 HP『ひだご坊一口法話』3月

宮川宏志氏(吉城組寶林寺住職) 畑 美貴氏(吉城組願徳寺坊守)

《連載》 「同朋会運動」としてのハンセン病問題 —謝罪から共なる解放へ— ⑤

■ハンセン病問題の現在地③

隔離政策が与えた被害と「無らい県運動」  
 [比類なく深く、ひとりひとりの全人格、全人生にわたる被害]  
 つらくて、いたい。「いいことをしておいて、何が痛いかと怒鳴られた。たまらなかった。  
 台の上上がったときに器具の音を聞きながら気を失った。子どもを引きずり出された。顔をたたかれて目が覚める。鼻も口もガーゼで押さえられればたばたしている赤ちゃん。まぶたが動いていた。へその緒が波打っていた。髪の毛が真っ黒だった。子どもが殺される。看護婦は子どもをもつて走って行ってしまった。その時の医師はこういった。「園の規則まで破って、子どもをつくらせて恥ずかしくないのか」水さえ飲ませてもらえなかった。その悔しさは忘れられません。  
 赤ん坊の死後、夫は二度と子どもができないよう断種手術を強制された。(『いま、共なる歩み』東本願寺出版)  
 ハンセン病療養所星塚敬愛園の入所者・玉城しげさんの言葉です。ハンセン病絶対隔離政策は、この病を患った人たちに回復不可能な絶大な被害を与えました。その被害は、ハンセン病国賠訴訟の中で、「比類なく深く」「ひとりひとりの全人格、全人生にわたる」被害であると押さえられ、徳田靖之弁護団長は、「原告らは、それぞれに40年あるいは50年更には60年余の長きにわたって沈黙を強いられてきました。苦痛と屈辱を、また悲嘆と絶望とを自らの身の奥深く刻み込み塗り込めて生き続けることを強いられてきました」という言葉で被害の甚大さを表現しています。隔離政策が与えた被害は、入所者、退所者、家族それぞれ固有のものですが、私たちは、「被害回復」ということを課題にしようとするとき、まずその被害の本質というものに向き合わなければならないと思います。そこで今回は特に、療養所の中での被害について確かめていきたいと思ひます。  
 その被害の中でも最も過酷なものと言われるのが「断種・墮胎」の強要です。ハンセン病を患った人たちは、子孫を遺してはいけない存在とされ、「不良な子孫の出生を防止することを目的とする法律」として戦後制定された「優生保護法」により「合法化」されたハンセン病を患った人々に対する断種・墮胎は、1万件近くにおよびます。

さらに療養所内では、本名ではなく園名の使用が求められました。その目的は、ハンセン病国賠訴訟の中で「その人をして社会の中で生活することが許されないものとの自己認識を強いるもの」という言葉で確かめられています。名とはその人自身です。  
 また、ほとんどの入所者が、ふるさと、家族との断絶を余儀なくされています。ふるさととは、単なる自らや父母の出身地ということではなく、いのちのルーツと言ってもよいかと思いますが、それに加え、これまで紡いできた人間関係など、生きてきた歴史からも切り離されることになったのです。断種・墮胎によりいのちをつなぐことが許されず、名を奪われることでその人がその人として生きることを奪われ、ふるさと、家族と切り離されることでその人の託生の根源まで断絶させられる。隔離政策は、その人のいのちの、これまでと、いまと、これからを奪う、いわば人間として生きるということすべて、その尊厳を根こそぎ奪う政策だったと言えます。そしてこれらの被害は、ハンセン病国賠訴訟が起こされるまで、入所者同士で語られることもほとんどなかったようです。「沈黙を強いられてきた被害」だと言えます。  
 優生思想、優生政策について少し補足しておきますと、優生政策とは、生まれながらにして「優秀な人」と「劣った人」がいるという認識を前提に、生殖への介入によって、「優れた人」をより多く出産し、「劣った人」は生まれてこないようにして、人間の集団を改良しようとする政策と表現できると思います。1948年に制定された「優生保護法」は1996年まで存続し、「障がい」を持った人、病を得た人などが、社会から排除されていく社会構造を維持拡充し、多くの命が奪われ、たくさんの方が、自分の意思に反して子どもを持つことができない体にされていきました。この法律が被害当事者の壮絶な闘いにより、最高裁において違憲であることが認められたのは、つい最近と言ってよい2024年5月のことです。  
 【市民に植えつけられた差別意識—無らい県運動】  
 今述べた、優生思想の国民への浸透とも関るのですが、ここで隔離政策が与えたものとして、もうひとつ

つ押さえおかねばならないのが「無らい県運動」です。1940年、厚生省は「患者収容の完全を期せんがためには、いわゆる無癩県運動の徹底を必用なりと認む」という指示を各都道府県に出します。その後「無らい県運動」は、官製の国民運動として全国的に展開され、全国津々浦々で「患者狩り」などが行われ、絶対隔離政策の担い手は、行政当局のみならず、一般の市民にも広がり、ハンセン病を患った者やその家族に対する差別意識を根強く温存させ、更に植え付けていくというはたらきをしました。  
 その一つの表れが、「黒川温泉宿泊拒否事件」と言えます。国賠訴訟判決後の2003年、熊本県黒川温泉のあるホテルが、ハンセン病療養所菊池恵楓園の入所者であったことを理由に、予約を取り消すという事件が起きました。もちろんこれは、「旅館業法」に違反する決して許される所為ではないのですが、菊池恵楓園自治会からなどのホテルに対する厳しい抗議の声が連日マスコミなどで報道される中、その抗議を批判する、おびたしい数の匿名の文書が入所者らに寄せられました。それらの文書の中には、ハンセン病を患った人に対する差別心を露骨に表すものも多くありましたが、中には、「訴訟も辞さないというのは普通ではありませんよ。人の過ちも許せず、自分たちを受け入れるとゴリ押しするのはおかしい。何十年と続いた偏見を数年で変えようなんて言うのは無理です。これでは別の意味で恐くてハンセン病患者を受け入れる気にはなりません」というような、同情心の裏返しといえるような内容の手紙も寄せられました。この手紙には31歳主婦と記されており、一市民の率直な感想が綴られていると感じますが、そこには極めて深刻な問題が存在していると思ひます。まさしく、このような宿泊拒否がなされ、そのことへの当然の抗議に対して、このような言葉が、被害当事者に向けられていく現実が、ハンセン病問題の現在地と言ってよいのではないのでしょうか。

元解放運動推進本部本部員  
 三重教区金藏寺住職 訓覇 浩



高山1組 第二期 嘉念坊教室— 飛驒御坊の歴史文化をたずねる講座

飛驒御坊開基、嘉念坊善俊上人から始まる「飛驒の真宗史・文化・伝承」をたずねて、体感して、「ごぼさま」に親しむ人生講座です。組を越えてのご参加を呼びかけております。

- 第1回 4月5日(日)13:30~15:30 講演『飛驒御坊縁起絵伝』上巻
  - 第2回 4月19日(日)13:30~15:30 講演『飛驒御坊縁起絵伝』下巻
  - 第3回 4月26日(日)9:00~16:30 嘉念坊上人御旧跡参拝の旅
- 主催:高山1組 協賛:高山別院・嘉念坊善俊上人顕彰会

講師:三島多聞氏(高山別院輪番)  
 会場:高山別院  
 受講枠:20名(先着順)  
 受講料:公演(2回) 2,000円  
 :御旧跡参拝の旅 3,000円



飛驒御坊真宗教化センター・高山別院 2026年3月行事予定

| 日  | 曜 | 時間                   | ご坊センター・高山別院・教区・組   | 会場               | 日  | 曜 | 時間             | ご坊センター・高山別院・教区・組                                   | 会場          |
|----|---|----------------------|--|------------------|----|---|----------------|--|-------------|
| 1  | 日 |                      |  |                  | 17 | 火 | 13:00<br>15:00 | 春季彼岸会 永代経法座 法話:小原正憲氏(専念寺前住職)<br>教 是施陀羅問題実行委員       | 本堂<br>センター室 |
| 2  | 月 | 14:00<br>19:00       | 七 真宗公開講座(市野智行氏)<br>組 高山2組 親鸞教室                                       | 御坊会館<br>御坊会館     | 18 | 水 | 13:00          | 春季彼岸会 永代経法座 法話:窪田 純氏(圓徳寺住職)<br>教 解放推進協議会 岐阜地区公開学習会 | 本堂<br>web   |
| 3  | 火 | 13:00<br>8:00/13:30  | 別 3日の御坊 嘉念坊上人法要・総会と記念講演<br>法話:竹田 雅文氏(東等寺住職)<br>別 半日華 / 華方 岐阜支部坊守基礎講座 | 本堂<br>本堂/岐阜高山教務所 | 19 | 木 | 13:00          | 春季彼岸会 永代経法座 法話:森 恒河氏(秋聲寺住職)                        | 本堂          |
| 4  | 水 | 14:00                | 教 聖典・聖教学習会(名和達宣氏)  | 研修室              | 20 | 金 | 13:00          | 春季彼岸会 永代経法座 法話:三島多聞氏(別院輪番)                         | 本堂          |
| 5  | 木 | 14:00/19:00<br>14:00 | 教 第4回「御同朋を生きる」輪読会<br>教 慶讃広報部会  | 研修室<br>WEB       | 21 | 土 | 13:00          | 春季彼岸会 永代経法座 法話:江馬雅臣氏(賢誓寺住職)                        | 本堂          |
| 6  | 金 | 14:00/19:00          | 七 解放推進協議会高山地区「映画上映会」   | 御坊会館             | 22 | 日 | 13:00          | 春季彼岸会 永代経法座 法話:中川唯真氏(教区駐在教導)                       | 本堂          |
| 7  | 土 |                      |  |                  | 23 | 月 | 13:00<br>14:00 | 春季彼岸会 永代経法座 法話:三島見らん氏(西念寺住職)<br>教 法要教化部会           | 本堂<br>WEB   |
| 8  | 日 | 13:00                | 別 納骨法要   | 本堂               | 24 | 火 | 14:00          | 教 寺院活性化支援会議  | 岐阜高山教務所     |
| 9  | 月 | 14:00                | 教 真宗同朋会支部長会  | 研修室              | 25 | 水 |                |  |             |
| 10 | 火 | 13:30                | 教 ハンセン病療養所交流研修(〜11日)<br>組 高山2組坊守学習会                                  | 駿河療養所<br>研修室     | 26 | 木 |                |  |             |
| 11 | 水 | 13:00                | 別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞氏(輪番)   | 御坊会館             | 27 | 金 | 13:00<br>13:30 | 別 お速夜<br>教 臨時教区会・門徒会・教勢調査報告学習会                     | 本堂<br>WEB   |
| 12 | 木 | 13:30<br>19:00       | 組 高山2組組会<br>組 高山2組 親鸞教室  | 研修室<br>御坊会館      | 28 | 土 | 13:00          | 別 親鸞聖人御命日 法話:窪田 美幸氏(圓徳寺坊守)                         | 本堂          |
| 13 | 金 | 7:00<br>14:00        | 別 前住上人ご命日<br>教 慶讃事業推進委員会 常任委員会                                       | 本堂               | 29 | 日 | 14:00          | 七 現代の問題講座(森達也氏)                                    | 本堂          |
| 14 | 土 | 9:00                 | 別 おみがき   |                  | 30 | 月 | 19:00          | 教 教化研究所  | 研修室         |
| 15 | 日 | 8:00                 | 別 一日華  | 本堂               | 31 | 火 |                |  |             |
| 16 | 月 | 13:30                | 教 教区坊守会役員会   | 郡上教会             |    |   |                |  |             |

2026年4月 ※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます

| 日 | 曜 | 時間    | ご坊センター・高山別院  | 日 | 曜 | 時間    | ご坊センター・高山別院  |
|---|---|-------|--------------|---|---|-------|--------------|
| 2 | 木 | 14:00 | 教 聖典・聖教学習会②  | 6 | 月 | 9:30  | 得度事前研修会、得度考査 |
| 3 | 金 | 14:00 | 教 解放推進協議会輪読会 | 8 | 水 | 14:00 | 真宗公開講座⑦      |